

夏休み 特集

親子で楽しもう!

近くのミュージアム



遠くまで行かなくても、ほのぼのエリアにはユニークで、役に立つミュージアムがいろいろありますよ。夏休みを利用して、近場で新発見を。自由研究にもどうぞ



ブリヂストン TODAY ゴム・タイヤの知識、先端技術

小平市小川東町3-1-1 ☎042 (342) 6363

●開館時間 10時～16時(入館は15時30分まで)

●開館日 月曜～金曜および第2・第4土曜
(日曜・祝祭日・第1、3、5土曜は休館
ただし8月は13日～17日休館)

●入館料 無料

●アクセス 西武国分寺線小川駅東口より徒歩5分

世界の企業、ブリヂストンの東京工場が小平にあるのは皆知っています。その敷地内に「ブリヂストン TODAY」というミュージアムがあることは、まだよく知られていないようですね。

ブリヂストン創立70周年を記念して2001年

3月、同社技術センターの1、2階にオープン。ゴムやタイヤ、ブリヂストンの歴史、情報を紹介する展示館です。この4月には開設からの入場者が10万人を突破しました。

広々としたエントランスの吹き抜けの天井から巨大な飛行機エンジンのバルーン模型がまず目に入ります。これは開催中の特別展示(7月下旬で終了)で、実際のエンジンと同じ大きさ。そしてフロアーには実物の航空機用のタイヤが展示されています。高速、温度差など過酷な条件下で使用されるタイヤに触れることができました。こうした企画展は年に4回程開かれています。

副館長の伊東功さんと展示企画等を担当する水野雄太さんが館内を案内してくださいました。1階でひとときわ目立つのが赤のフォーミュラ1(F1)マシン。これは1997年にブリヂストンが初めてF1参戦したとき、タイヤをテストするために使用さ



れたマシンです。その奥にはレース用のタイヤがズラリ。「持ってみてください」と伊東さんに言われたので、恐る恐る持ってみることに。するとびっくり、軽く持ち上げることができたではありませんか。前輪が9kg、後輪が11kgでお米の重さほどだと実感。世

界各地で転戦するF1世界選手権で、1回の開催に持ち込まれるタイヤは約2千本。現在F1で使用されるタイヤはブリヂストンだけ。世界最先端の技術研究がこの場所で行なわれ、生産され、世界へと旅立っているのです。

1階はこのような極限のタイヤから身近なタイヤに至るまで、さまざまなタイヤの種類と基礎知識について、わかりやすく展示され、ゴムの世界が広がっています。タイヤの内部を初めて見ましたが、意外に複雑です。いくつかのパーツがはり合わされ、ベルト部分は細い鉄線の両側にゴムが貼り付けてあります。

直径4メートルもの世界最大のタイヤにも目を見張ります。これは鉢山などで使われる400トンクラスのダンプロトラックに使用されるタイヤです。その横にはリアモーターカーに装着され、浮上していない状態の車両を支えるタイヤも。無機質なタイヤがそれぞれ個性を主張して、とても

美しく感じられます。

新発見は、タイヤと地面の接地面積はたったハガキ1枚分だということ。実物の車を底部分からみることで納得できますよ。

2階はタイヤができるまでの過程、研究開発、ブリヂストンの環境への取り組みなどが展示されています。ちなみにブリヂストンの東京工場で、1日に生産されるタイヤは一般乗用車用約25000本、トラック・バス用約6000本、飛行機用約1000本。飛行機や一部のトラック・バスのタイヤは、すり減ったトレッド（路面と接する部分）だけを削って、新しいトレッドゴムを貼り、また利用されています。廃タイヤは燃料や道路の材料としてリサイクルされ、このミュージアムの駐車場は廃タイヤを加工したもので造られています。

スペアタイヤが不要な、パンクしても走れるランフラットタイヤ、同じエネルギーでも、より長い距離を走ること

地下の免震装置
真ん中が免震ゴム

世界最大のタイヤと伊東さん。
実際の大さはこの倍。

とができる、転がりやすいタイヤなど環境にやさしい、これからのタイヤにも活躍が期待されます。

地下ではこの8階建てのビルで実際に使われている免震ゴムをガラス窓越しに見ることが出来ます。柱と柱の間に挟まっている黒いゴムが地震のエネルギーを吸収して、震度7の地震でも震度3くらいに減るそうです。この技術は新築だけでなく、既存の建物にも構造によっては、設置できるとか。今後のためにもぜひ見ておきたいスポットです。

日頃見慣れたタイヤに目からウロコの知識がいっぱい。ここに来ればあなたもタイヤ博士に？ブリヂストンが身近に感じられますよ。

多摩六都科学館

科学の世界を楽しむワンダーランド

西東京市芝久保町5-10-64

☎042(469)6100

●開館時間 9時半～17時（入館は16時まで）

●休館日 月曜（祝日の場合は開館）

●展示室入場料 大人500円 小人200円 プラネタリウム 全天周映画別途料金

●アクセス 花小金井・田無よりバス「多摩六都科学館」行き

●有料駐車場 120台



クイズラリーをしながら館内を知ろう



子どもたちに大人気のムーンウォーカー

命・生活・地球・地域の科学)では、展示物や掲示物を見るばかりでなく、五感を使って体感する工夫がされています。月面での重力を模擬体験できるムーンウォーカー、ゲーム感覚で動体視力や反射神経を測ってみるコーナー、ポランティアスタッフと一緒にパズルやミニ実験をするはげけんテーブル：たくさんあって紹介しきれません。

取材に行った日には、小学生が校外学習で来ていましたが、それぞれが興味をもったところに行き、触ったりじっくり見入っていたりしていました。

昨日、日本人の科学分野でのノーベル賞受賞が続いている一方で、子どもの理科離れが言われています。そんな子どもたちに、科学的好奇心と探究心を引き出してくれる格好の場所が、ほのぼのエリアに。いえいえ、子どもだけでなく、大人も十分に楽しめる場所だと取材して思いました。

5つのテーマ別展示室（宇宙・生

科学館のおおよそをつかむには、クイズラリーをしながら、館内を巡るのがお勧めです。ショップで白いカードを買って（百円）、ラリーカード発行機で顔写真入の自分専用カード（1年間有効）を作れます。施設案内や展示物紹介、催し物予定などもわか



ります。
世界最大級のプラネタリウム、全
天周映画も上映時間をチェックして是
非見てみたいもの。その日の夜空のよ
うすを解説員さんが肉声で説明して
くれます。この夏上映のアニメ「竜の
見ていた満天の星」は、小さいお子さ
んが見ても飽きない、そして、大人が
見ても考えさせられる内容のある作
品だそうです。
体験・工作・実験プログラム、イベ
ントもいろいろ企画されています。こ
の夏の特別イベントは「太陽とあそぼ
う」。事前申し込みが必要なものと当
日先着順のもの、随時参加できるも
のとあります。(ホームページや多摩

六都科学館にお問い合わせください)。
昆虫の育て方や標本の作り方など昆
虫相談コーナーや河原の石から上流
域の地層を探るという展示もあり、こ
こでの体験が、夏休みの自由研究につ
ながるかもしれませんね。

お食事・喫茶のカフェテリア(36
席)もありますし、お弁当を持って
いって休憩室(154席)でくつろぐ
こともできます。大ガラス窓を通して
眺める雑木林は最高ですよ。疊のコー
ナーもあるので、疲れたお父さんは一
休み(?)。授乳コーナーもあり、赤
ちゃんもここでお昼寝(?)。
学び場というより、憩いのスポット
としての穴場見つけちゃいました。

- 音をさぐるろう+かんたん工作
(踊るへび) 8・13(木)〜16
(日) ①12時30分〜13時35分
②15時10分〜16時15分
- 竹とんぼをつくろう 8・23
(日) ①10時〜12時 ②13時
30分〜16時30分 小学生〜一
般 200円(材料費)当日会
場で随時受付
- 昆虫相談コーナー 8・24(月)
13時30分〜15時30分
- 写真展「第30回SSP展 自
然を楽しむ科学の眼2009」
9・8(火)〜10・4(日) 出
展 伊知地国夫、海野和男、
竹内敏信、中村征夫ほか



休憩室からの眺めはバツグン



ふれあい水道館 日本唯一の「下水道」ミュージアム

- 小平市上水本町1-25-31 ☎042(326)7411
●開館時間 10時〜16時
●休館日 月曜(休・祝日の場合はその直近の平日)
●入館料 無料
●アクセス 西武国分寺線鷹の台駅徒歩7分



地上2階、地下5階の
建物。地下25メートルに
埋められている実物の下
水道管の中に入り、実際
に下水の色やにおいなど
を体感できる施設。

私たちが毎日使う水、
その排水はどこへ行くの
か。目にするのではない
下水道について、展示や
模型、映像を使用して、
わかりやすく説明されて
います。マジックビジョ
ンでわかる江戸から現在
までの下水道。何より
驚かされるのは江戸が当
時、世界一清潔なまちで
あったこと。水や糞尿の
合理的なリサイクルの知
恵について学ぶところ大
です。

小平市の水環境の歴
史、まいまいず井戸の模
型や、昔の手押しポンプ、
水桶、井戸の水汲み用の
滑車なども実物展示され
ています。

地下5階に下りると、三鷹から見
学してきた小学4年の子どもたちで賑
わっていました。説明を聞いた子ども
たちが班ごとに、内径4.5メートルも
ある本物の下水道の中に入っていくま
す。出てきた時は「ウー、くさかつ



地下5階ふれあい体験室。管やマンホールの実物を展示。



地下5階で見学できる下水道内部

たー」とハンカチで鼻を覆ってしました。管の中にブリッジが架けられ、そこから流れる下水を見るのですが、仄暗い中に私たちが流した汚水が不透明な灰色となって…我慢できないほどのおいではなく…貴重な体験ができました。

■顕微鏡でいろいろなものを観察しよう 8・6(木)と20(木) 10時～11時30分 小学3年以上対象

■工作教室 8・15(土) 10時～11時30分(毎月第3土曜開催)



西東京市緑町1-1-1
☎042(463)1611(自動応答)
●開館日 毎週火曜・金曜
●開館時間 10時15分～14時45分
●入館料 無料

農場博物館 東大農場の中に佇む小さな博物館

1934年に建設され、1974年まで使われていた旧乳牛舎を、当時の佇まいのまま修復されて農場博物館として昨年7月にリニューアルオープン。1960年代半ばには60頭もの乳牛が飼育されていたそうです。

館内も外観同様、素朴で懐かしい雰囲気が残っています。入口を入るとまるで幾何学模様の洋風洋風コレクション。歴史的価値のある農機具、トラクタなど、駒場農学校・農学部・農場コレクションが1000点余り展示されています。入口右手には3つのブースがあり、手動式のみかん選果機の体験コーナーもあります。

ここは東大農場ボランティアのサ

1934年に建設され、1974年まで使われていた旧乳牛舎を、当時の佇まいのまま修復されて農場博物館として昨年7月にリニューアルオープン。1960年代半ばには60頭もの乳牛が飼育されていたそうです。

館内も外観同様、素朴で懐かしい雰囲気が漂っています。入口を入るとまるで幾何学模様の洋風洋風コレクション。歴史的価値のある農機具、トラクタなど、駒場農学校・農学部・農場コレクションが1000点余り展示されています。入口右手には3つのブースがあり、手動式のみかん選果機の体験コーナーもあります。

GAS MUSEUM ガス資料館



ポर्टで運営されているので、ボランティアのみなさんが丁寧にガイドしてくれます。

120年を超えるガス事業の歴史と、快適な暮らしを実現してきたガスの役割や器具を紹介するガスの歴史博物館。東京ガスの社屋であった赤レンガの建物が、ガス灯とマッチして美しく、レトロな気分になります。

■ガスライト・ライブコンサート
8・1(土)2(日)18時～20時
くらし館前中庭

■没後40年「ノエル・ヌエット」〜東京を愛した仏蘭西人〜展 9・27(日)まで ガス灯館ギャラリー

●小平市大沼町2-590
☎042(342)17155

●開館時間 10時～17時(入館・休館日 毎週月曜(祝日の場合は翌日))

●入館料 無料

八国山たいけんの里



東村山市野口町3-48-1
☎042(390)2161
●開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
●休館日 月曜・火曜 ●入館料 無料

八国山の麓にある、この5月オープンの体験型施設。縄文人を体感できたり、子どもも大人も体験学習に参加して楽しめます。

■8月～9月中 毎週土日は弓矢体験実施中。 ■八国山自然観察会
8・1(土)、15(土) 10時～13時30分 ■おもしろトイレのはなし 8・8(土) 13時30分～14時30分 ■シュロの葉バッタづくり 8・16(日) 13時30分～15時30分 ■ペーパークラフト・ダンボール昆虫作り 8・29(土) 13時30分～15時30分 材料費300円 ■まゆ玉昆虫づくり 8・30(日) 13時30分～15時30分 材料費300円、定員30名(要申し込み)
8・5(水) 9時30分より申込み受付

*清瀬市郷土博物館、小平ふるさと村、東村山ふるさと歴史館の情報はP17をご覧ください。